



市 整 会

会 報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.67 2021年7月21日発行

医療法人 孝瑛会
西沢整形外科クリニック
〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-15-23
TEL072-288-2001 FAX072-288-2002

巻頭言

市整会 副会長 天野 祐一（昭和57年入局）

新型コロナウイルス感染が始まって、早くも1年6ヵ月が過ぎようとしています。我々整形外科開業医の仕事や生活にも深刻な影響があり、現在も続いています。

今回は淡々とこの1年を振り返ってみましょう。

国や自治体も矢継ぎ早に対策をとりますが、長く続いていた第1回緊急事態宣言が解除されたのが、丁度1年前の令和2年5月でした。外出自粛のお触れのため、目に見えて主にリハビリ患者さんの来院が減少してゆきました。このころは「9月入学」という話もありました。まだまだ東京の感染者は一日30人程度で海外の何千人発症とかは実感がわかなかつたです。6月には新規感染者の増加傾向のため、感染再拡大防止の「東京アラート」発令や、休業要請解除、緩和の「ステップ3」や、「感染防止徹底宣言ステッカー」の配布も始まりました。

朝一は患者さんで密になりがちな整形外科では、なかなかソーシャルディスタンスがとれず、悩ましいところでした。

7月になり、そんな中で旅行飲食業界に対するテコ入れ策で始まった「GoToトラベル」でしたが、折しも東京は4日間連続で新規感染者が200人に達し、第2波が始まりました。「GoToトラベル」は、結局東京を除外してのスタートになりました。

8月に入り、1日の東京の新規感染者は472

人、国内は1535人。沖縄がこの頃からずっと感染者が増え、「医療崩壊」の危機に陥り、お盆休みを前に「自粛論」が再燃。アメリカは世界最悪の感染爆発に見舞われ、累計感染者は543万人、死者17万人、4～6月期のGDPが前期比-31%と、第二次世界大戦後で最大の落ち込みになりました。新型コロナウイルス感染対策を軽視したトランプ大統領は、この後選挙で敗北してしまいます。日本でも8月28日に安倍首相が、健康問題で辞任しました。

9月1日には日本の感染者6万8916人、死者1306人。しかし第二波が収まりつつあるとの判断から、東京では2ヵ月ぶりに飲食店の10時までの時短を撤廃、10日からGoToトラベルの対象に東京も解禁となりました。そして9月16日に、管内閣が発足されました。9月下旬の4連休には旅行やイベントも賑わい、結果的に11月からの「第3波」の感染急拡大につながったと見られます。

10月1日の日本の感染者は8万3236人、死者1577人。また、1日からポイント付与制度のある「GoToイート」事業と、東京発着の「GoToトラベル」が開始。少額飲食で、「無限ゼロ円ループ」なる現象も問題となりました。10月中旬にはインドで感染爆発し、感染確認者が計705万人で、アメリカに次いで2位になりました。

11月から感染者がみたび増加傾向にあり、8日日本医師会中川会長は第3波と認識すると発言しました。21日には「GoToトラベル」から札幌、

大阪が除外されました。

12月も感染者増加傾向は続き、感染しても自宅療養を余儀なくされる者が2日には6271人で、1ヵ月前の5.7倍になりました。3日には「大阪モデル」の警戒度が非常事態の「赤信号」に。9日には国内新規感染者が3000人越え。年末年始を控えて訴えていた「勝負の3週間」もあまり効果が見られませんでした。大阪ではトップダウンで十三市民病院がコロナウイルス感染者専門病院に指定され、地域の基幹病院、とりわけ産婦人科病棟も閉鎖されました。院長がテレビ報道でこれを知ったと聞いています。21日には日本医師会など医療関連9団体が、「医療緊急事態宣言」。25日に英国由来の変異株感染者を国内で初確認。53歳の国会議員がコロナ感染で急死。28日ようやく「GoToトラベル」が全国で一斉に停止。31日に東京の新規感染者が1353人に。紅白歌合戦も無観客開催となりました。海外旅行は11月ごろから自粛禁止となり、どこにも行けない正月休みになりました。

令和3年を迎えるも、祝賀ムードは吹き飛び、新年会など語るも憚られる雰囲気でした。6日の東京の新規感染者が2520人となり、7日首都圏の1都3県を対象に緊急事態宣言が発令されました。西宮えびすの恒例、福男選びも中止になり、大阪にも1月14日には2回目の緊急事態宣言が発令され、2月7日まで飲食店に午後8時までの時短営業要請になりました。13日には大阪、兵庫、京都、愛知などに緊急事態宣言の追加決定。18日国内の重症患者は1000人を超え、14日にはビジネスマンの海外旅行往来一時停止。22日には国内死者数5000人を突破となりました。

2月には緊急事態宣言の3月までの延長を決定。3日には改正感染症法が成立し、宣言に至らない段階で休業等が命令できる「蔓延防止等重点措置」が新設されました。12日にファイザー社製のワクチン第一便が到着。17日から国内で医療従事者に接種開始。徐々に感染者の減少をうけて、マスクを着けての会食なども容認されるようになりました。27日に10都道府県の緊急事態宣言のうち、首都圏の4都県以外を解除。3月1日には2回目の緊急事態宣言解除。

3月はジワジワと感染者が増加するも、期限の21日で緊急事態宣言を解除する方針へ。大阪は2

月28日の54人からジワジワと感染者は増え続け、歓送迎会の時期と重なってクラスターが発生、3月下旬には1日300人台に急増しました。

4月5日には「蔓延防止等重点措置」が大阪府に適応、「見回り隊」も発足。アクリル板設置などの設置が求められました。しかし結果的に4月は英国株が感染爆発し、大阪府の感染者は人口比4倍の東京を越えてしまいます。当然、救急患者が運べない「医療崩壊」状態になりました。4月25日に3回目の緊急事態宣言が発令、黄金週間は緊急事態宣言の地域からの旅行者は基本移動禁止、観光地や飲食店から締め出しとなりました。その後は延長、延長で現在まで緊急事態宣言が続いています。

頼みの綱はワクチンですが、これがなかなか輸入されず、当初4月と考えられた高齢者への接種開始が遅れて、大阪ではようやく5月24日からになりました。7月に開催される東京オリンピックも、まさかここまで世論が逆風になるとは思っていませんでした。巨大ビジネスと化したオリンピックは「開催されることに意義がある」ような印象です。アスリートにとってもつらいところでしょう。

「7月中に高齢者への優先接種を終える」との菅首相の号令の元、大規模接種会場でのワクチン接種も開始され、国際会議場では国、自衛隊のモデルナ社のワクチン接種が始まりました。大阪府、大阪市も大規模接種が、マイドーム大阪やインテックス大阪で始まりました。しかしながらインテックス大阪は遠い。梅田・難波からバスが出てるとはいっても、高齢者はなかなか行こうとはしないようです。交野市の先生の話では、ワクチン接種予約は市の窓口で一元管理され、医院では時間指定で来た方に接種するだけとのこと。もちろん会計は不要ですので、実にスムーズに接種出来るとのこと。大阪でも地元の集団接種に協力していますし、自院での個別接種も、嫌がるスタッフを説き伏せて、何とか頑張っています。しかしいざ始めてみると予約の電話に忙殺され、来院しての予約対応にも人手がかり、キャンセル対応もしなければならず、受付が大変なことになっています。また、1バイアル6人分は扱いにくく、6人の予約枠を埋めなければなりません。3週間後に2回目が必要というのがボトルネックにな

り、接種者をなかなか増やせない状態です。さらにキャンセルで余って廃棄したらもったいない、とワクチン警察に叱られてしまいます。

3回目の「緊急事態宣言」が6月20日で解除され、「蔓延防止等重点措置」に移行し、大阪府では飲食店も8時までの時短営業、アルコールは7時まで、2人までの会食、90分までという条件下に営業を再開するようです。ここへ来て心配なのはインド型変異種デルタ株です。東京での発症が確認され、緊急事態宣言で減少していた新規感染者が、東京では6月中旬から横ばいになっており、いよいよインド株による第4波が懸念されます。当然、大阪にも波及してくるでしょうし、これまでの経験から「緩めるとリバウンド」が、分かっているだけに蔓延防止等重点措置に加えて、ワクチン接種効果に大きく期待しています。

高齢者が患者さんの多くを占める整形外科ですので、多くの市整会会員もワクチン接種をされている事と存じます。高齢者に続いて64歳未満のワクチン接種も始まりますが、早くワクチン接種による集団免疫ができあがり、出来るだけ元の世界に近い状態まで戻ってほしいものです。

市整会のイベントもほとんど中止やウェブ開催になり、会員の交流もリアルには出来ないまま1年が過ぎました。今回6月26日には久々にハイブリッドではありますが、ANAクラウンホテルで学術講演会が開催されます。7月からはほとんどのメーカーが、リアル講演会を了承しているようです。

この大変な時期に開業される先生方も多いとお聞きしています。是非とも逆風に負けず頑張ってください。長文失礼致しました。



令和3年度 市整会 総会

日時：令和3年5月22日（土） 17時～

Zoomでの、オンライン会議

総会の成立について（森川）

「現在の会員数は、192名です。本日の出席予定者がZoomでの開催で16名の参加者があり、委任状が130通出ておりますので、会員の過半数を超えますので、この総会が成立致しました」
（出席者16名、名誉理事40名（内、委任状15通）委任状90枚、会員192名…総会成立）

議題

報告事項

1、会員の動向について（森川）

名誉会員（6名）

吉田研二郎先生（入局：昭和51年；誕生日：S25/1/20）
西賀 隆夫先生（入局：昭和52年；誕生日：S25/10/19）
阪本 邦雄先生（入局：昭和53年；誕生日：S25/8/21）
西口 豊憲先生（入局：昭和54年；誕生日：S25/12/13）
喜馬 秀樹先生（入局：昭和56年；誕生日：S25/3/1）
横山 一郎先生（入局：昭和56年；誕生日：S25/9/17）

死亡退会者の御報告（2名）

江口 享先生（昭和36年）が令和3年3月23日にご逝去
伊藤成幸先生（昭和25年）が令和3年5月2日にご逝去

閉院の御報告（2名）

田村彰浩先生（平成5年）が体調不良に伴い、昨年度（12/25）限りで閉院されるとの事です。
（医）整形外科たむらクリニック
〒572-0084 寝屋川市香里南之町16-8 香里医療介護センタービル1F
TEL：072-837-5589 FAX：072-837-5590

岡垣健太郎先生（昭和47年）が（医）頼整形外科クリニックを継承されましたが、2月から千本病院へ勤務されております。退会するかは思案中との事で下記に郵送物は送る事となりました。
〒557-0034 大阪府大阪市西成区松1丁目1-31
TEL：06-6657-3711

郵送物停止（2名）

門林哲夫（昭和39年）先生

サービス付き高齢者住宅に入居しており、元気ではありますが、仕事もしていないので、市整会からの郵便物は以後の郵送の停止をお願いしますと、奥様から連絡が有りました。

竹村 永（昭和32年）先生

〒593-8322 堺市西区津久野町 1-17-9-305（転居）

高齢につき、配布物を辞退される旨連絡ありました。

住所変更（1名）

木村浩朗（平成14年）

大阪市平野区平野元町9-21 になります

（以前は大阪市平野区平野元町10-35 NAYビル1F）

住所間違い（1名）

越宗勝先生（平成9年）

越宗整形外科病院

〒558-0051 大阪市住吉区東粉浜3-26-6

TEL：06-6672-2251 FAX：06-6671-2233

HP: <http://www.koshimune.jp/hospital>

新入会（6名）

大嚙武夫先生（平成9年）

おおはた整形外科クリニック（開院日 8月1日（土））

〒546-0031 大阪市東住吉区田辺1-6-7 ヴィラージュ東住吉1F

TEL：06-6622-1374 FAX：06-6622-1375

Mail：info@ohata-seikei.com

自宅：〒536-0017 大阪市城東区新喜多東2-6-24 パークスクエア城東IV番館1018号

Mail：imotih_ekusie@dream.zaq.jp

生年月日：S46/6/7

森田光明先生（平成6年）

大阪こどもとおとなの整形外科

〒558-0043 住吉区墨江3-23-20 コーポ住吉1階

TEL：06-6674-5667 FAX：06-6674-5666

自宅：阿倍野区文の里4-9-13 080-3850-0556

ホームページ：<https://ocaoc.jp/>

生年月日：S43/8/3

河田 弘先生（昭和54年）

石崎整形外科（非常勤）

〒636-0123 奈良県生駒郡斑鳩町興留5丁目10-28

TEL：0745-75-5258 FAX：0745-75-9066

Mail：hiro.9045@ray.ocn.ne.jp

禱 史明先生（平成8年）

中之島いわき整形外科（大阪整形外科病院（旧・中之島いわき病院）の分院）

（※5月6日開院予定）

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-13-4

TEL : 06-6454-8155

Mail : inorin@flute.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://nakanoshima-iwaki-cl.doctorsfile.jp/>

鳥飼大剛先生 (平成25年)

だいがう整形外科 (開院日 5月10日、内覧会 5月8~9日)

大阪市平野区喜連西4-5-16

TEL : 06-6705-0015

自宅 : 〒543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-39-2004

恵木 丈先生 (平成5年)

北浜えぎ整形外科 (開院日 4月5日)

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋2-4-2 メディカルモール北浜(上田北浜ビル)3階

TEL : 06-6205-8338

ホームページ : <https://kitahama-egi-orthop.com/>

Mail : egi.orthop@gmail.com

新規開業 (1名)

伊藤陽一先生 (平成3年)

サニークリニック (開院日 9月1日(火))

〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-4 コフレ梅田7階

TEL : 06-7639-7200 FAX : 06-7639-7202

(伊藤クリニック・大阪ショルダーセンターとスマイルクリニックに続く3店舗目になるそうです)

移転 (1名)

岩城啓好 (平成3年)

大阪整形外科病院 (旧 中之島いわき病院)

〒553-0007 大阪市福島区大開4丁目3-61

TEL : 06-6463-1111

(旧住所 : 〒553-0003 大阪市福島区福島3丁目2番9号

TEL : 06-6458-3151 FAX : 06-6548-3155)

アドレスの変更 (1名)

田村隆典先生 (平成13年)

医療法人社団太隆会たむら整形外科

Mail : vflryusuke@gmail.com

諮問委員から理事に変更 (1名)

長濱信一先生 (昭和59年)

右上肢のしびれの為ゴルフが出来ず、それに伴い昨年度をもちましてゴルフ担当理事および諮問会メンバーを辞られました。

今後、天野祐一先生と金井先生で担当して頂き、小竹先生はコンペ当日のお手伝いをして下さいます。

2、令和2年度事業報告（森川）

R2.04.17（金） 諮問委員会

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R2.04.25（土） 令和元年度後期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：久光製薬）

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し、メールで資料をお送りし、それで議論し討議する事となりました。

⇒全60名の理事の先生方のうち35名の委任を頂き理事会成立
（委任状を頂いた先生 19名、名誉理事の先生方 16名）

場所：TKPガーデンシティ 理事会 17時から、フォーラム 18時～
学術講演「人工膝関節置換術の現況と将来展望―術後疼痛管理も含めて―」

座長：西澤 徹

演者： 阪和第三泉北病院 阪和人工関節センター 総長 格谷義徳先生

R2.05.23（土） 市整会 総会（講演会のみ共催：科研製薬）

⇒コロナの感染拡大で自粛し、議案書を郵送した上で委任状137通を頂き、少人数で総会を開催しました。

場所：ヴィアール大阪 レガード 16時～

学術講演1「ケモカインを用いた半月板修復促進治療法の開発」―座長：小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 西田洋平先生

学術講演2「最近の審査状況と請求で注意する点」―座長：天野祐一

演者 ますだ整形外科クリニック 院長 増田 博先生

R2.05.31（日） スケルトンゴルフコンペ 天野山CC

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R2.06.20（土） 学術講演会 共催：旭化成

場所：ANAクラウンホテルプラザホテル大阪 3階「万葉東中」 16時～
総合司会：明石健一

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

学術講演1「一般整形外科外来における小児整形外科診療の要点」―座長：宮内一晃

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 病院講師 中川敬介先生

学術講演2「妊娠・授乳中の薬物治療 関節リウマチを中心に」―座長：増田 博

演者 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

主任副センター長／妊娠と薬情報センター 村島温子先生

学術講演3「骨粗鬆症治療レビュー ―骨形成促進剤を中心に―」―座長：大川得太郎

演者 埼玉医科大学整形外科教授 教授 宮島 剛先生

R2.09.04（金） 諮問委員会

⇒コロナウイルスの感染拡大でZoomによるオンライン会議

- R2.09.12 (土) 令和2年度前期理事会・市整会フォーラム (講演会のみ共催：帝人ファーマ)
場所：ホテルモントレ大阪6Fメヌエット—理事会18時～フォーラム19時～
演題「変形性膝関節症の治療戦略
—最近のガイドラインと人工膝関節置換術を中心に—」座長：西澤 徹
演者：格谷 義徳 先生 (阪和第二泉北病院 副院長)
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し、Zoom会議で議論し討議しました。
出席者：16名、委任状：22通…理事会成立
- R2.10.10 (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)
共催：久光製薬
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R2.10.24 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬
場所：梅田丸ビル(大阪第一ホテル) 17時～
学術講演「腰痛疾患診療のピットフォール—診断から治療まで—」
演者：京都府立医科大学大学院医学研究科—運動器機能再生外科学(整形外科学教室)—
講師：長江 将輝先生
文化講演：国立研究開発法人—宇宙航空研究開発機構 広報部—特任担当役—宮里光憲様
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R2.11.15 (日) 家族会
京都—南禅寺観光、昼食—南禅寺参道—菊水
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R2.12.11 (金) 諮問委員会
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し、Zoom会議で議論
- R2.12.13 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉が丘CC(8:08葛城スタート)
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R3.01.23 (土) 市整会新年会
場所：リッツカールトン—中村教授の御講演
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R3.03.13 (土) 市整会学術講演会 共催：小野薬品工業株式会社
17時～
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛しWEB講演での開催(単位なし)
総合司会：小竹志郎
参加人数：事前登録252名、当日視聴者192名
学術講演1「クリニックにおけるエコーを活用した
足部・足関節疾患の診断と治療の実際」 座長：増田 博
演者：医療法人社団 高倉整形外科クリニック 理事長 高倉義幸先生
学術講演2「自衛隊中央病院における、新型コロナウイルスの感染症対処の概要」
座長：柴田和弥

R3.04.17（土）令和2年度後期諮問委員会（ZoomでWEB開催）

R3.04.24（土）令和2年度後期理事会（ZoomでWEB開催）

理事総数58名、当日参加者14名、委任状42通（名誉会員15名、会員29名）…理事会成立

3、その他の報告事項

1) 市整会のメーリングリストを、新しくしました。

今までの、レンタルサーバーでの、メーリングリストでも、今までは、問題はなかったのですが、コロナ禍で、リモートでの会議や、メールでの連絡網がより必要になってきております。今までの、メーリングリストでは、携帯電話での受信ができませんでした。そこで、携帯でも受け取れるメーリングリストを、UMINのサーバーを利用して、斧出先生が再度構築して下さいました。

市整会業務連絡ML siseikai-let@umin.ac.jp

市整会会員ML siseikai-mem@umin.ac.jp

市整会理事会ML siseikai-riji@umin.ac.jp

市整会諮問委員会ML siseikai-simon@umin.ac.jp

又、上記のうち、理事会のメーリングリストで、メールアドレスがない先生方がおられます。

①吉中正好 吉中整形外科 〒570-0083 守口市京阪本通り2-3-1

②上田晏弘 上田整形外科 〒578-0912 東大阪市角田1-7-15

③若林 亘 若林整形外科 〒669-1537 兵庫県三田市西山町1-2-9

④中野博友 中野整形外科 〒660-0814 尼崎市杭瀬本町1-9-24

⑤奥田好彦 (医)奥田整形外科 〒586-0009 河内長野市木戸西町3-1-15 ヤマハラビル 2F

⑥楯憲一郎 (医)楯整形外科 〒595-0062 泉大津市田中町3-17 渡辺ビル

⑦呉家守二 (医)呉家整形外科

〒546-0043 大阪市東住吉区駒川2-2-16 パークサイド駒川104号

⑧和田健志 和田整形外科 〒596-0054 岸和田市宮本町5-1

この先生方だけに、郵便物もしくはFAXでのご連絡が必要となります。

2) 市整会Facebookのお知らせ

参加してみてもいいと思われる先生がおられましたら、ご連絡ください。よろしく申し上げます。

<https://www.facebook.com/groups/1317350741612674>

また、今後は同門会の先生もご招待していくこととなりました。

HPでの掲示板は書き込みが少しやりにくい側面もあり、SNSを利用し、より簡便にする事で会員間の情報提供がふえる事を斧出先生が説明して下さいました。

3) 同門会との情報の共有と連絡しやすい環境づくりの為に

お互いの連絡が取りやすい環境作りの為に斧出先生が、同門会会長の佐々木健陽先生に相談して下さい、下記の同門会のメーリングリストが出来ました。

- ・大阪市大整形外科同門会メーリングリスト

アドレスは、seikeidoumon-bounces@med.osaka-cu.ac.jp です。

4) 今後の講演会の演者

- ①大阪大学 大学院 医学系研究科 心臓血管外科 教授 澤 芳樹 (増田 博先生 推薦)
- ②総合医療センターの並川先生から、側弯症の症例を紹介頂きたいので 今後、講演会をさせて頂きたいとの依頼がありました。

5) 来年の2022年度は市整会50周年記念式典が有ります

H29(2017).10.15 (日) 市整会45周年記念祝賀会

6) 総会の返信用はがきを送るに際し

今回の総会は初の試みでZoomでの開催になり、返信用はがきをお送りいただく際、当日参加される予定の先生方(全員)にも委任状を書き葉書・FAX/メールにて送付して頂き、議案に反対の際は総会の場で委任状を取り下げて頂く方針でお願い致します。Zoomでは、参加する事も退室する事も容易であり、人数把握が困難なうえ総会の成立が危ぶまれるための措置でありご理解の程を宜しくお願い致します。

7) 新規開業の方へ、お祝いを贈るのを制度化し、それに伴い、医局に市整会に連絡して頂くというシステムをお願いする。(西澤会長に医局に尋ねて頂きました)

8) 幹事会(理事会・諮問委員会)でのZoomを使用しての実施ですが、幹事会はメーカーが共催をしている本会とは別になるため、Zoomで実施頂くのは問題ないが、メーカーとしては何もタッチ出来ないとの事です。

そこで、市整会が独自に契約してなら、Zoomでビジネスタイプだと年間にして約24000円となります。

但し、同様に講演会も行うとなると、セキュリティと単位に関わる聴講時間の裏付けのために木村情報サービスというWEB講演会などを取り扱う会社に頼まないといけないそうです。

ただ各社がWEBにどんどん切り替えており、年内はほぼ無理みたいです。(確認中です。金額は一回で70~80万ほどかかるそうです。)

Zoom会議(4つのプラン) <https://project-dreams.com/zoom/account-free-vs-pro/>

- ①基本(無料)
- ②プロ(月14.99ドル)(有料:100人までミーティングに参加可能);1600円~1700円/月
- ③ビジネス(10アカウントから購入可)(月19.99ドル)(有料:300人までミーティングに参加可能);2100円~2200円/月
- ④企業(100アカウントから購入可)(月19.99ドル)(有料:1000人までミーティングに参加可能);2100円~2200円/月

尚、今後Zoom等のオンラインを実施していく場合、協賛メーカーの協力は得られませんので、会員各位への連絡は、郵送ではなくメール・Faxでの対応をする事となった。

Zoomでの講演会の方法について

案1、講師の先生だけを、協賛メーカーの営業所のWEBルームに来ていただいて、そこから配信する方法

案2、講師の先生も、ご自宅からの配信で、していただく方法

上記2つの方法でなら、木村企画という会社に、高いお金を払わなくても、もっと安く済むのですが、

あとは、単位の取得をどうするか、受講料の徴収管理をどうするかですが問題点であり、日整会の点数が必要な方は事前登録で先に口座に振り込んで頂き、受講していることを確認するための作業も必要ようで、膨大な労力が必要になることも問題であり。(OCAで、木下先生が苦勞されているお話を頂きました)

市整会が、時間指定されたこれまで同様の研修講演を行う意義を考えたところ、会員が顔を突き合わせて講演を聞き、ざっくばらんな会話が出来なくなる事は、市整会の趣旨と違うのではないかとの意見もあり、理事の先生方の御意見をお聞きしたところ、Zoomでの開催をするならば、会費は集めずに単位申請もしない方向で開催する事となりました。

9) 田村彰浩先生(平成5年)の入院に伴った診療支援

令和2年度での閉院と決まりましたが、それまでの間 小竹先生、荒木先生、日下先生が、診療支援を手伝って下さいました。その他、多数の先生からご連絡頂きました。

10) その他の報告事項は有りませんでした。

協議事項

1、令和3年度事業計画(森川)

R3.05.22(土) 市整会 総会 (講演会のみ共催: 科研製薬)

(Zoomで講演会なしのWEB開催) 17時~

出席: 16名、委任状: 130通(会員総数192名) …総会成立

R3.06.26(土) 市整会学術講演会 共催: 旭化成

場所: ANAクラウンプラザホテル大阪(WEBとサテライト会場の二本立て)

16時~19時30分

総合司会: 明石健一

学術講演1「一般整形外科外来における小児整形外科診療の要点」 座長: 宮内 晃

演者 大阪市立大学 大学院 医学研究科 整形外科学 病院講師 中川敬介先生

学術講演2「妊娠・授乳中の薬物治療 一関節リウマチを中心に」 座長: 増田 博

演者 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

主任副センター長/妊娠と薬情報センター センター長 村島温子先生

学術講演3「骨粗鬆症治療レビュー ~骨形成促進剤を中心に~」 座長: 大川得太郎

演者 埼玉医科大学整形外科 教授 宮島 剛先生

R3.06 (日) スケルトンゴルフコンペ

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R3.09.17(金) 諮問委員会 9時~

R3.10.02(土) 令和3年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催: 帝人ファーマ

コロナの状況で単位無しで、開催を考える(7月には会場・演者の手配もあり決定する)

R3.10.? (?) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)

共催：久光製薬

コロナの拡大状況から、会員に有益な情報を馬野先生から発信することで講演会の替わりとする事となりました。

R3.10.30 (予定) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬

コロナウイルスの感染拡大状況で検討する。

Zoomとサテライトの両方で検討し、定員制で参加者のみの単位申請
立食を含め懇親会は無しの方向で考えている。

R3.11.? (?) 家族会

⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止の予定

R3.12.12 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉が丘C C

8時葛城コーススタート、8組

R3.12.? (?) 諮問委員会

R4.1.? (?) 市整会新年会

場所：リッツカールトン 中村教授の御講演？

2、その他の協議事項

1) その他の協議事項は有りませんでした。

当日参加者

西澤 徹、増田 博、石崎嘉昭、鳴嶋真人、安田浩成、秋野一男、斧出安弘、天野祐一、
竹中稔幸、伊藤智康、柴田和弥、宮口正継、森川献志漢、大嚙武夫、水沢慶一、鳥飼大剛

委任状を頂いた先生方

石崎嘉昭、長田 明、前野岳敏、岩瀬久雄、奥田好彦、許 国広、杉本欣也、山藤修輔、
佐竹兼爾、楠 正敬、中本達郎、金川雅洋、楯憲一郎、西上茂樹、飯田伊佐男、呉家守二、
島田永和、清水孝修、堀澤欣弘、佐藤哲也、安田浩成、喜馬秀樹、倉田順弘、秋野一男、
斧出安弘、田中直史、天野祐一、増田 博、森沢康二、野上倫昭、玉田善雄、寺川文彦、
阪本一樹、柳井尚浩、馬野隆信、光武 宏、喜多義将、金井秀彰、辰巳一郎、阪本博史、
高山 優、元田忠伸、香月憲一、宮内 晃、川満政之、古瀬洋一、上野憲司、橋本亮治、
鄭 明和、調子和則、寺元 隆、西澤 徹、竹中稔幸、大川得太郎、浦勇武志、伊藤智康、
南 幸作、豊川英樹、藤沢直史、荒木良守、湊 康行、柴田敏弥、岩城啓好、伊藤陽一、
本田泰郎、酒井 啓、日下昌浩、仁田史人、森田光明、宮口正継、木下裕介、鱧永 浩、
姜 良勲、中塚洋直、森川献志漢、袴 史明、大嚙武夫、政田俊明、水沢慶一、小竹志郎、
明石健一、高尾泰広、田村隆典、田口 晋、山北真也、鞆 浩康、木村浩朗、松本一伸、
鳥飼大剛、河田 弘

令和3年度 市整会役員

会 長	西澤 徹								
副 会 長	増田 博	馬野 隆信	天野 祐一						
会 計	伊藤 智康								
総 務	森川献志漢								
名誉会長	吉中 正好	長田 明	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一				
顧 問	上田 晏弘	黒田 晃司	楯 憲一郎	前野 岳敏					
議 長	鳴嶋 真人								
副 議 長	斧出 安弘								
監 事	安田 浩成	楯 憲一郎							
理 事	石崎 嘉昭	若林 亘	中野 博友	奥田 好彦	近藤 正樹	楠 正敬			
	吉田研二郎	林 正樹	西上 茂樹	鳴嶋 真人	増田 宗義	和田 健志			
	佐藤 哲也	中村 薫	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史	秋野 一男			
	天野 祐一	増田 博	寺川 文彦	柳井 尚浩	馬野 隆信	柴田 和弥			
	阪本 博史	金井 秀彰	長濱 信一	高山 優	古瀬 洋一	黒澤 克也			
	宮内 晃	上野 憲司	山下 豊	調子 和則	西澤 徹	大川得太郎			
	伊藤 智康	小堀 肇彦	岩城 啓好	桑野 吉浩	日下 昌浩	木下 裕介			
	鱧永 浩	姜 良勲	森川献志漢	越宗 勝	小竹 志郎	明石 健一			
	妻鹿 良平	高尾 泰広							

役員職務分掌

福利厚生担当副会長	馬野 隆信						
福利厚生担当理事	天野 祐一	増田 宗義	和田 建志	田中 直史	秋野 一男		
	高山 優	金井 秀彰	上野 憲司	大川得太郎	木下 裕介		
	小竹 志郎						
学術並びに健保介護診療担当副会長	増田 博						
学術担当理事	宮内 晃	西上 茂樹	佐藤 哲也	竹中 稔幸	岩城 啓好		
	小竹 志郎	明石 健一					
健保介護診療担当理事	馬野 隆信	佐藤 哲也	秋野 一男	上野 憲司	西澤 徹		
	大川得太郎	小竹 志郎	日下 昌浩				
総務・広報並びにIT委員会担当副会長	天野 祐一						
総務担当理事	森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩				
広報担当理事	宮脇 裕二	天野 祐一	山下 豊	小堀 肇彦	鱧永 浩		
	越宗 勝	木下 裕介	妻鹿 良平	姜 良勲	高尾 泰広		
I T委員会	森川献志漢	宮脇 裕二	斧出 安弘	高山 優	調子 和則		
	木下 裕介	小竹 志郎	明石 健一				
諮問委員会	西澤 徹	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	鳴嶋 真人		
	安田 浩成	宮脇 裕二	斧出 安弘	秋野 一男	宮内 晃		
	大川得太郎	伊藤 智康	木下 裕介	森川献志漢	小竹 志郎		

市整合 令和2年度収支決算書・令和3年度予算書

令和2年度収支計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

1. 収入の部

科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,320,000	¥4,047,000	¥-273,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,320,000	¥4,047,000	¥-273,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入（預金利息、紹介状代）	¥100	¥84	¥-16
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥600,000	¥0	¥-600,000
小計	¥600,100	¥84	¥-600,016
当期収入合計	¥4,920,100	¥4,047,084	¥-873,016
繰越金	¥6,563,566	¥6,563,566	¥0
合計	¥11,483,666	¥10,610,650	¥-873,016

2. 支出の部

科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥150,000	¥92,808	¥-57,192
第2項 事務用品費	¥10,000	¥825	¥-9,175
第3項 渉外費	¥100,000	¥0	¥-100,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥300,000	¥133,633	¥-166,367
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥800,000	¥511,776	¥-288,224
第2項 学術部	¥1,050,000	¥810,324	¥-239,676
第3項 福利厚生部	¥750,000	¥0	¥-750,000
第4項 広報部	¥400,000	¥423,500	¥23,500
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥6,160	¥-3,840
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,420,000	¥3,151,760	¥-1,268,240
第3款 慶弔費	¥250,000	¥53,060	¥-196,940
第4款 予備費	¥6,513,666	¥0	¥-6,513,666
当期支出合計	¥11,483,666	¥3,338,453	¥-8,145,213
次期繰越金		¥7,272,197	
合計	¥11,483,666	¥10,610,650	¥-873,016

内 訳

1. 収入の部

年会費収入	151/187名（閉院27名、未納9名、※ ¥12,000のみ引落2名） ¥27,000×（187-27-9-2）+ ¥12,000×2 = ¥4,047,000 ※医師信の自動引落の手違いで前期分¥15,000の引落が出来ていなかったことから。	
利息	医師信用組合	¥55
	三井住友銀行	¥29
	合計	¥84
その他の収入	学術講演会等参加費等	¥0
	合計	¥0

2. 支出の部

事務費		
第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送（封筒含）等	¥92,808
第2項 事務用品費	香典袋・宛名ラベル	¥825
第3項 渉外費		¥0
第4項 事務弁償費	総務	¥20,000
	会計	¥20,000
各部活動費		
第1項 総務部	会議費	¥27,060
	ネームプレート代	¥2,750
	ホームページ関連(前年度分のホームページ管理料含)	¥420,960
	名簿印刷	¥61,006
第2項 学術部	大学医局出張費援助	¥800,000
	日整会事務費	¥10,324
第3項 福利厚生部	家族会	¥0
	ゴルフ	¥0
第4項 広報部	会報印刷代等	¥423,500
第6項 雑費	振込手数料等	¥6,160
慶弔費	香典・供花代・弔電代等	¥53,060

令和3年度予算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1. 収入の部

科目	令和2年度予算額	令和3年度予算額	増減
第1款 会費収入			
第1項 本会費	¥4,320,000	¥4,377,000	¥57,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,320,000	¥4,377,000	¥57,000
第2款 雑収入			
第1項 雑収入（預金利息、紹介状代）	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥600,000	¥0	¥-600,000
小計	¥600,100	¥100	¥-600,000
当期収入合計	¥4,920,100	¥4,377,100	¥-543,000
前期繰越金	¥6,563,566	¥7,272,197	¥708,631
合計	¥11,483,666	¥11,649,297	¥165,631

2. 支出の部

科目	令和2年度予算額	令和3年度予算額	増減
第1款 事務費			
第1項 通信費	¥150,000	¥100,000	¥-50,000
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥300,000	¥250,000	¥-50,000
第2款 各部活動費			
第1項 総務部	¥800,000	¥800,000	¥0
第2項 学術部	¥1,050,000	¥850,000	¥-200,000
第3項 福利厚生部	¥750,000	¥400,000	¥-350,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥4,420,000	¥3,870,000	¥-550,000
第3款 慶弔費	¥250,000	¥250,000	¥0
第4款 予備費	¥6,513,666	¥7,279,297	
合計	¥11,483,666	¥11,649,297	¥165,631

会計監査報告書

令和2年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・管理されたことを認めます。

令和3年4月27日

監事 守田 浩成 

令和3年5月10日

監事 楢 憲一郎 

市整会先生方からの至急紹介に対する 対応案について

大阪市大整形外科外来主任 大戎 直人

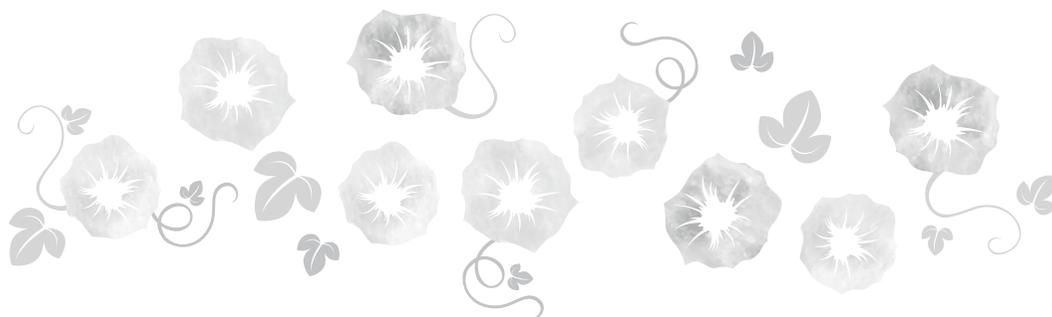
平素は教室員に多大なるご指導とご鞭撻を賜りありがとうございます。

さて、先日来市整会会員の先生方から、紹介初診患者の外来受診までの待機期間について種々ご意見をいただいております。当大学病院では、整形外科の月間外来受診者数が約3000名、初診受診者数が300名を超えており、病院内では群を抜いてその症例数が多くなっております。これに比例して手術件数も増加傾向にあります。これもひとえに同門、特に市整会の先生方のご協力によるものと深く感謝しております。これからも皆様から数多くの患者様をご紹介頂けるよう、できるだけ風通し良い受診環境の整備をしていきたいと考えております。

地域連携室を通してご紹介いただいた患者様の受診に関しましては、可及的早期に対応できるように努力しておりますが、同日に対応困難となり、緊急症例などに関してはご迷惑をおかけすることがあります。迅速な対応が必要と思われる患者様への対応について以下の改善策を検討いたしました。

地域医療枠の近々予約が不可能な場合、整形外科医局（☎06-6645-3851）秘書（白銀、富山、藤戸）に直接ご連絡いただければと存じます。その際、疾患ごとの専門診療担当者に連絡し、担当者不在あるいはその時点の直接対応が困難な場合は、各医師から先生方に後ほど直接連絡させていただきます。つきましては患者さんの年齢と疾患についてfaxまたはメール（seikei@med.osaka-cu.ac.jp宛）でご教示いただき、併せて先生の御連絡先をご教示いただきます（メールを送っていただいた際は不要です）と幸甚です。なお、この件につきご質問、ご連絡などがございましたら、大学病院外来主任をしております大戎（evis@med.osaka-cu.ac.jp）までご連絡を賜りましたら幸甚です。ご多忙中にも関わりませず、お手数をとらせまして恐縮ですが、よろしくご高配をいただきますようお願いいたします。

※勤務時間外（17時以降および土日祝日）の連絡に関しましては、十分な対応ができない場合がございますので、勤務時間内にご連絡をお願いします。



一人開業医が病気になったら

馬野 隆信（昭和58年入局）

一人での医院開業については健康リスクが大きな問題です。昨年、癌に罹患したものの自分自身と組織の延命が得られましたので、お世話になった先生方へのお礼も兼ねて体験談として紙面を少し拝借致します。

昨年の10月に排便の調子が思わしくなく大腸内視鏡検査を受けたところ、直腸に進行癌が見つかりました。大きさからいって内視鏡的粘膜切除術（EMR）の適応は無く、腹腔鏡手術になるとの事、肛門歯状線から10cmまで浸潤しているもの的人工肛門造設は避けられそうとの判断で、大坂国際がんセンターに手術をお願いする事になりました。

そこで困ったのが外来診療です。入院・手術はコロナの影響もあり比較的早期に可能との事でしたので、治療方針決定の後は、癌罹患のショックを感じる暇も無く、代診の手配に取り掛かる事となりました。市整会会員が急病等で代診が必要な場合は、大学医局にて大学院生等でお手伝い頂ける様に予め取り決められていると伺っておりましたので、まずは医局に連絡して医局長の先生に代診のお手配をお願いしました。又、夜診などは懇意にしている先生方に直接お願いして、空いている時間枠を埋めて頂く事と致しました。実際のところ、治療方針決定から入院日の連絡受けるまで6日、その後3日で入院となりましたので手配の日数に余裕がありませんでした。幸い入院予定の2週間の全ての診療を代診の先生をお願いする事が出来、患者様にも多大なご迷惑をおかけすること無く入院治療に専念する事が出来ました。

入院中はコロナ渦で病院から外泊はおろか外出も出来ず、病室から大阪城を眺める毎日で、面会も1日1人15分に限定され、おひとり様生活を余儀なく堪能させられました。腹腔鏡手術の術後は翌日から離床、術後の腸の機能回復ためにもどんどん歩く様に勧められ、リハビリの重要性を実感致しました。腹腔鏡手術でしたので手術創の疼痛も電動ベッドのお陰でベンタジンの投与も必要無く、術後1週間でドレーンも抜去となりました

が、術後の腹壁瘢痕ヘルニア予防のために2ヵ月間のゴルフ禁止を厳命されました。幸い、術後所見はリンパ節転移や漿膜への浸潤無くstageⅡであり、5年生存率については統計上95%だそうですのでまずは一安心しつつ、以前よりは節制した日々を送っております。

市整会会員のほとんどはお一人で開業なさっていることと思います。ご自身がインフルエンザ等の病気に罹患した場合、肉親がお亡くなりになられた場合など、急な場合はごく短期間であれば臨時休診になされるのも可能かと思えます。又、予定出来る場合、例えばGWの狭間の1～2日なら代診の先生を医師派遣業者をお願いするなどして、自分自身は長期休暇をとる事も可能です。

しかしながら急に2週間以上という長期に渡って急に告知無く外来診療を止めるとなると、患者様の迷惑や復帰後の経営にも関わろうかと思われまます。市整会の先輩方が予め交渉して下さっていたお陰で、今回は代診を整形外科医局をお願いする事が出来て非常に助かりました。

実際の手順としては、先ず、市整会会長を通じて医局の方に代診依頼を連絡して頂く、その上で、代診のお手配は医局長の先生が担当されますので、クリニックの担当者が医局長と連絡をとりつつ、診療枠を埋めてゆくこととなります。医局長の先生は大学院生を派遣して下さいましたが、医局に依頼した上で（今春から整備された）整形外科同門会のメーリングリストを通じて、勤務医の先生方へも代診依頼の情報を流す事も可能となっております。同門会のメーリングリストはまだスタートしたばかりですが、急な代診依頼等のプラットフォームの役割も今後は担って行くかもしれません。

一人開業医のセーフティーネットともいえる市整会と医局の関係が、末永く良好に続くことを祈念する次第です。

今更ながらですが、一人で開業する以上、自分の健康管理は自分自身のみならず家族や従業員、当然の事ながら患者様のためにも、最も大事にし

なければならぬと痛感致しました。国民の二人に一人が癌を患うと言われております。釈迦に説法となりますが、市整会の先生方におかれましては、定期健康診断はもとより、どうか消化器癌となってもEMRで処置できるよう、肝癌となっても焼却術や塞栓術で根治できるよう、癌の早期発見に努められて下さい。又、ご自身が急遽何らかで病気・ケガや入院・手術となっても、外来の手配や不在中のクリニックをやりくりして貰えるスタッフや、奥様との良好な関係を、維持しておい

て下さい。

今回の入院・手術に当たり代診をお願いした大阪市大整形外科医局の先生方と市整会の先生方、又、院長の留守中に外来診療をつないでくれた当院のスタッフ、そして私の心と体のみならずクリニックをも献身的に支えてくれた妻に、改めてお礼と感謝の気持ちを述べたいと思います。私自身の体とクリニックが少しでも長く健康に生きながらえる事がその恩返しになると思って、これからは過ごして参ります。



自己紹介

石崎整形外科・内科

河田 弘（昭和54年入局）

この度は石崎整形外科・内科の整形外科医として市整会へ入会させていただきこととなりました、昭和53年卒の河田弘です。

弘前大卒業後、市大整形外科同門会には昭和54年入会させて頂き、大阪市立住吉・十三市民病院・弘済院附属病院・心身障がい者リハビリテーションセンターへの勤務を経て、大阪市を平成29年度末に退職となりました。退職後も非常勤嘱託

医として、週3日大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンターへ勤務していますが、平成30年4月以降は石崎整形外科・内科にも週2日（月・金）お世話になっています。

しばらく臨床から離れていたこともあります。が、初心に帰り、石崎嘉昭先生とともに、頑張りたいと思いますので、皆様にも今後のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



自己紹介

北浜えぎ整形外科

恵木 文 (平成5年入局)

この度市整会に入会させていただき、令和3年4月5日に「北浜えぎ整形外科」を開院した恵木文(えぎたけし)と申します。入会に際しまして、一言ご挨拶させていただきます。

当クリニックは、堺筋線北浜駅6番出口から徒歩2分、京阪本線北浜駅21番出口から徒歩3分の大阪市中央区高麗橋2丁目にあり、北浜郵便局南のメディカルモール北浜3階にございます。正式ビル名は上田北浜ビルですが、その由来は日本に3社しかない短資会社の一つである上田八木短資株式会社の大阪本社ビルだからです。

私は昭和62年に大阪市立大学に入学し、小学4年生から始めた硬式テニス部に所属しました。M2の後半からレギュラーとなり、主将であったM5の西医体ではチームをベスト8に導くことができました。入部以来1回戦負けばかりだったので、漸く結果が出て良い思い出となりました。市整会にはテニス部出身の先生方も多く、当時一緒にやっていた湊康之先生、鈴木英介先生、矢野博志先生、岡本浩一先生には開業前後で色々アドバイスを頂きました。

平成5年に整形外科学教室に入局し、漠然とスポーツ医学に携わることができたらと思っておりましたが、大学病院での研修時に山野慶樹教授の指再接着術や、香月憲一助手の手関節外科に魅了され、「手外科」を専門とすることを決意しました。平成10年に新潟手の外科研究所に留学し、スペシャリストとして研鑽を積みました。

平成13年に助手として帰学後は、関節リウマチ

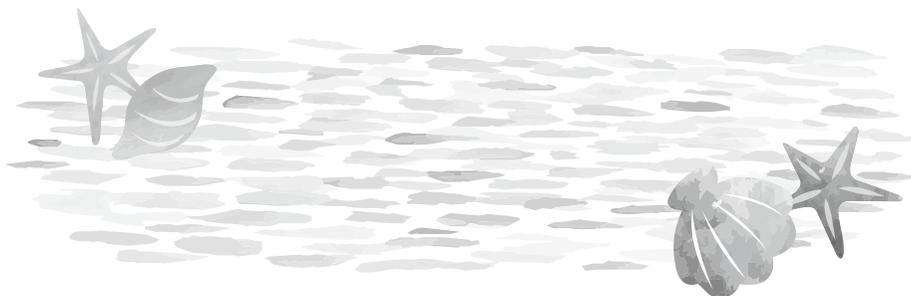
の研究も開始しました。高岡邦夫教授、香月准教授、乾健太郎講師の下、MRIを用いたRA手関節解析により学位取得、帝人ナカシマメディカルのサポートを得て人工指関節の新規開発を行い、特許を取得しました。

平成19年から大阪労災病院に異動し、平成22年から手外科部長を拝命しました。ご承知のようにそこは阪大と市大のハイブリッド人事なのですが、阪大出身の先生と和気藹々のなかで切磋琢磨できたことが、私の医師人生の中でも最も掛け替えのない経験となりました。今もゴルフや呑みをご一緒したり、長いお付き合いをさせて頂いています。

平成28年から大阪府済生会中津病院整形外科部長となり、まったりと勤務医を続ける事も考えましたが、定年後のあまりぱっとしない人生が想像できたり、今までの実績をステップに開業という起業にチャレンジしたい気持ちが高まり、今に至っております。

当院の特徴は、1) 感染対策と利便性からweb予約・問診、自動釣銭機の採用、2) 全身用Dexaによる骨粗鬆症、ニューロキャッチャーによる末梢神経障害の早期診断、3) 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本手外科学会の3学会の専門医を保持し、Best Doctors in Japanに2012年から連続選出中、4) OT、PTによる術後作業・理学療法が可能、などです。

今後とも先生方のご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い致します。



65歳を迎えるにあたって

増田 博（昭和57年入局）

もう、65歳を迎えられた方は思い出してください。まだ65歳になっていない方は想像してください。私が今年の9月に65歳を迎えるにあたって、いろいろなことが起きました。

まず、堺市から「おでかけ応援カード」申請の書類が届きました。これは1000円を払って申請をすれば、誕生日以降市内の路線バスや阪堺電車を、1乗車100円で利用できる制度です。時々路線バスに乗ることがあるのですが、今までPiTaPaで払っていたので、この新しい制度で払うとなると、少し恥ずかしい気がします。

次はコロナの接種券のことで。先生方は、コロナワクチンを医療従事者枠で接種されたと思いますが、当院へはなかなか接種券が届きませんでした。近隣の診療所の先生から、接種券が届き、もう接種しに行ったと聞き、焦っていたら、堺市から65歳以上の方へのコロナ接種券が自宅に届き、今年から65歳になるんだということを、再度感じました。もちろん、その後すぐに、医療従事者枠の接種券が届いたので、職員と一緒にワクチン接種を受けました。

年金の案内も来ましたが、残念ながらすべて支給停止です。なんか、つまらないですね。

一部でもくれたらいいのと思います。

体力は確実に落ちてきています。

診療所の屋上にあるはしご階段ですが、今までは踏み台なんか使わなくてもさっとのぼれていたのに、最近では、踏み台がないとのぼれません。

ジャンプして腕の力だけで、はしごの一番下に飛び乗れたのですが、それが難しくなってきました。無理をして、どこかを痛めたらしゃれにならないので、無理をせず踏み台を用意しました。

それと目の衰えも感じます。もともと近視で眼

鏡を使用していますが、近くは眼鏡をはずした方が見やすく、遠近両用の眼鏡を使用しています。ところが遠近両用だとゴルフ、テニスをするときに焦点があいにくく、物が2重に見えることがあります。とても見にくく、ゴルフのスコアが悪いのはそのせいだと思ったりすることもあります。また以前からコンタクトに憧れていたのですが、最近、思い立ち、近くの眼科に行きコンタクトを処方してもらいました。1ヵ月分くらい購入して、自宅ではめてみたのですが、装着に1時間くらいかかり、眼がとても充血したので、一度しか使用していません。

診療をしていても、最近は、診察終了までの時間が長く感じられます。昨年から、コロナの影響で患者さんが減り、診察がとても暇な時期がありました。それに慣れてしまったのか、元の患者数に近い来院患者さんが来られると、体がついていけなくなりとても疲れます。これは少ない患者数に慣れてしまったのか、体力が落ちてしまったのか、どちらかわかりません。

最後に車のことです。最近、車に小さなキズをつけることが続き、大きな車に乗ってなにかに当てるのが怖くなり、次に乗り換える時は、小さな車を買おうと思っていたのですが、心変わりして大きな車に乗りたくなってきました。逆に、あと何年乗れるかわからないと思うと、俗に言う高級車に乗ろうかと虎視眈々と狙っています。私は、通勤に車を利用していますが、片道45分くらいかかるので、車の中で贅沢に過ごせたらよいと思うようになりました。今まであまり見ることもなかった車のパンフレットの数々を取り寄せて積極的に見えています。

以上、最近思うところです。



たにまち 8

阪本 博史（昭和59年入局）

コロナ禍で相撲界もいまひとつもりあがりません。話題といえば、自粛を破って外出したのがばれた朝乃山、阿炎、竜電の三力士でしょうか。阿炎、竜電は、外食がばれて3場所出場停止。朝乃山は、6場所出場停止、50%減給6ヵ月。阿炎、竜電より処分が重いのは、キャバクラに行ったことを、一旦は否定しながら、嘘をついていたことを認めたことで、悪質ととれえられ、重い処分となりました。

各部屋の親方、力士には強く外出の規制がかけられていて、外出どころか「たにまち」の部屋への出入りもお断りしている状況です。朝乃山がこういう時期に「たにまち」とキャバクラへ行ったのは、本人の意思もあったでしょうが、「親方」の「顔」もあったようです。正確には「元親方」元高砂親方（元朝潮）。「元」だらけの話になりましたが、先代親方の「たにまち」に対する付度が災いしてこのような不祥事になったようです。

「たにまち」に新聞記者も同行していたようで、この新聞記者に口止めしておけば大丈夫と考えたのでしょうか、他の週刊誌にはスクープされる、キャバクラのおねえちゃんには一緒の写真をネットに出されるわで、嘘をつきとおせなかったようです。元親方も責任をとって相撲協会を退職しました。

今の高砂部屋は、現高砂親方（元朝赤龍）は部屋には住んでおらず、「通い」の親方だったそうです。これは非常に稀な状況で、親方が替わると普通、部屋ごと（建物も含む）引き継ぐものです。親方は交代したのに、先代親方が居座るといふことは、そうとう先代親方の影響力が強かったのでしょう。高砂部屋、先代親方には、「たにまち」衆が多いことで有名で、先代親方（元朝潮）のおかみさんも、「たにまち」の大阪の料亭の娘さんです。

【五月場所】

照ノ富士の優勝で幕を閉じました。貴景勝との優勝決定戦を制したのですが、14日目にもし、遠

藤が勝っていれば、3人の巴戦になるところでした。コロナ禍の影響で、「出稽古」禁止となっていて、一門の連合稽古も出来ず、力士たちが自分の部屋での稽古しかできない状況です。

この3人はそれぞれ、伊勢ノ海部屋、常盤山部屋、追手風部屋で、大勢の関取（十両以上）を擁する、いわゆる「強い力士」が多数いる部屋です。伊勢ノ海部屋5人、常盤山部屋4人、追手風部屋7人と、部屋内に強い関取が多数居て、弱小部屋に比べると稽古が十分できる環境にありました。

良い成績が残せたのも「強い力士とできる良い稽古」のおかげだと思われます。

【一門】

大相撲には五つの「いちもん」と呼ばれるグループがあります。その一門にいくつかの部屋が属しており、稽古などグループ内の交流が盛んです。さきほども書きましたように、一門同士での交流練習、いわゆる「出稽古」。一門全体で行う「連合稽古」などを盛んに行っています。

関取には二人の付き人（幕下力士）がつくのですが、関取が多すぎて、付き人が足りなくなってしまう時などは、一門から付き人を借りることもあります。現在最も多くの関取をかかえる「追手風部屋」「木瀬部屋」などは、付き人が足りずに、場所中は一門から借りています。

【相撲を支える仕事人 行司】

行司は力士同様、階級ごとに身に着けられるもの、装束が変わってゆきます。

袖口を結ぶ紐や軍配の房の色も違ってきます。最上級の立行司はふたりで、代々、木村庄之助と式守伊之助を襲名します。最高峰は、結びの一番だけを裁く木村庄之助です。「只今の決まり手は…」などと場内アナウンスをするのも下っ端の行司さんです。

行司の持ち物の、「軍配」は、庄之助が紺紫、伊之助が紫と白です。草履は、三役格、立行司は

履けますが、十両各格は白足袋、それ以下ははだしです。立行司の短刀は、差し違えには切腹の覚悟があるという覚悟を示すものです。

来年の大阪場所が平常どおり開催されることを願うばかりです。

せっせとワクチン接種している今日この頃です。



サイクリング

西澤 徹（昭和62年入局）

ワクチン接種が軌道に乗りつつあるとはいえ、まだまだ続くコロナ禍ですが、会員諸氏におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

個別接種や週末の集団接種に出向かれています方も多かろうと推察いたします。

「自粛！」の号令のもと、WEB講演会も今一つ、外食も難しい。家飲みでかえって酒量が増えた人も多いのではないのでしょうか（実は私のことです）。

そのコロナ禍に始めた「サイクリング」について紙面を汚させていただきます。

3年ほど前からジムでランニングすると強い腰痛や下肢痛を感じるようになりました。以前からの脊柱管狭窄が、少し悪化した程度に思っていました。昨年初めからのコロナ禍でジムも行き辛くなり退会。筋力低下とともに症状が進行。

近所の大泉緑地まで散歩に出たら、1.5kmほどで脚がしびれ動けなくなりました。

MRIでさらなる悪化を確認。内服したり仙骨ブロックを受けたり。しかし間欠性跛行は進行。とうとう800mほどの通勤もできなくなりました。ただゴルフは休み休みなのでラウンドは可能でした。

そこで運動不足解消に、自転車に乗り始めました。密にならずマスクも不要です。普段から患者さんには勧めています。

10年くらい前に購入し、詳しい患者さんにフレーム以外のほぼすべてをレストアしてもらった米国製のキャンonderal。自転車のことは今もわかりませんが、乗り心地が一変しました。

もっぱら近場の大泉緑地の周回路をまわりました。といって週1くらいですが。

春の終わり、最初の自転車行。堺の自宅から阿倍野にある私の通った幼稚園、小学校、中学校を訪ね、四天王寺、大阪城など市内を回遊して帰りました。30km程度でしょうか。事故、パンク、体力不足で帰宅できないと困るので、家人に自宅待機してもらいました。

夏が終わり河南町の近つ飛鳥博物館、狭山池博物館の周回コース。35kmくらいの行程。近つ飛鳥あたりの急坂はけっこう苦しかったです。素人はいきなりアップダウンのきついコースは避けるべきでした。

秋になり、少し遠出。岸和田城、大鳥神社へ出かけました。40km超。体力的には問題なし。ただ幹線道路は大型自動車が怖いのと、立体交差では自転車は迂回を余儀なくされます。日本は自転車にまだまだ優しくないことを確認。

11月末、万博公園を目指しました。往復65km超。自宅からひたすら北上。淀川の湾処が自然豊かで美しかったです。ビール工場横を通り、公園直前の急坂がとてもしつかった。ギアチェンジしてヒーヒー登っていると、スリムなお嬢さんに抜かされました。恐るべしアシスト自転車。太陽の塔にご挨拶。帰路ポールと衝突転倒。いまだ打撲痕消えず。坂道でけっこう体力を奪われたのか、最後の5kmくらいはへろへろでした。

そして昨年末、下肢のしびれがどうしようもなくなり、坂中先生に執刀していただき、年末年始を病院で過ごしました。

術後は、転倒がこわいので、専らウォーキング。8kmを痛みも痺れもなく歩けたことは、大きな感動でした。

術後1ヵ月、自転車も再開し、今度は甲子園球場へ。大きな道路が川を越すときなどは、歩道は道路の下に作られた巨大な歩道橋しかありません。いちいち降車して押して上がります。安治川では地下トンネルを歩きました。やはり人、自転車に優しくない。調子に乗って、母校訪問。総距離83km。案外行けた。

そのころ私のFacebookを見た同級生から連絡が。「琵琶湖一周行かへん？」自転車に乗るものは一度やってみたい「琵琶一」。なんて魅力的な言葉でしょう。一日で回りきるなど無理ですから、寄り道しながらのツーリングです。

緊急事態宣言ただ中の大型連休、決行しました。



岸和田城



琵琶湖大橋

前日は彦根近くのリゾートホテル泊。おいしい料理を堪能し、でも部屋ではマスクで会話。彼らは私などより社会的地位のある方々。あくまで慎重に。

翌朝、雨予報の中、出発。周遊なので引き返せません。案の定1時間もすると雨がパラパラ。5月の連休なのに気温は10度前後。雨脚は強くなる一方でした。それでも早く着いても仕方ないと、予定した旅程を進みます。余呉湖のレストハウスはストーブが焚かれていました。前傾姿勢をとるので、合羽の首元から水が入り、全身びしょぬれです。足趾はしびれるし、指も固くなりブレーキングがままならぬ。

ただ琵琶湖は自転車走行に優しい道づくりになっています。急坂が少ないので快適です。しかも初級者用の田舎道と上級者用の幹線道路に分かれています。湖北から湖西は景色も雰囲気も大変良かったです。余呉湖など工夫すれば、コモ湖畔のような保養地になれるのではないのでしょうか。海津大崎のあたりは土砂降りの中、十分景色を愛でつつ漕ぎ続けました。

楽しみにしていたマキノのメタセコイア並木付近は風雨が激しくなり、悲惨でした。でもせっかくだから並木道をゆっくりと往復し堪能しました。近くのカフェでは、3人とも期せずしてココアを頼んだのには苦笑。ここから宿までが苦行でした。雨の冷たさに体温を奪われ、意識レベルが低下しました。低体温は危険であると身をもって知りました。民宿でいただいたお風呂は、あまりの気持ちよさに声が出ました。初日81.9km。

翌日は一転好天。湖畔で写真を撮りつつゆっくりと。定番の白鬚神社にも参拝し南下。南湖は交通量が多いので危険回避をして、琵琶湖大橋を渡る。近江八幡に寄り道。情緒があつてよかったです。今度はゆっくりと来た。



ピワイチ

二日目の宿は西国十三か所の長命寺の宿坊です。一日一組限定。ここまで71.8km。けっこう走って疲れているけど、ここまで来て寺へ参らずにはいられません。疲れた足を引きずり808段の石段。御朱印を頂戴する。参る価値はありました。精進料理でビールもいただきました。極楽。

三日目はビクトリーランです。彦根城を訪ねた後、しばらくしてついに1周。計180kmほどを事故もなく完走。

案外筋肉痛もなく、初日の荒天がいい思い出に感じたほど。

結論：やはり大切なのはギアです。惰性でどこまでも走る世界のSHIMANOは素晴らしかった。普通の脚力があれば十分可能と思います。

次は「淡一」か「しまなみ海道」か、はたまた東北の被災地巡りもいいな？

簡単なメンテくらいできるようになりたいものです。

能勢妙見山へ参拝

鱧永 浩（平成7年入局）

先日、実家近くの妙見山に登って、妙見山を、拝んできました。日蓮宗霊場能勢妙見山といいますが、正式には、無漏山眞如寺境外仏堂能勢妙見山、と言うそうです。南無妙法蓮華經の題目を唱える、関西では重要な日蓮宗のお寺です。標高約660mの山頂にありますが、古くは、飛鳥時代から奈良時代に活躍した、仏教家の行基が、寺を建てたそうで、変遷を繰り返し、江戸時代ごろからは北極星を信仰する、日蓮宗のお寺となり、お詣りのブームになっていたそうです。

境内には、星マークを胴体につけた大きな馬の石像が、8頭あり、北極星とそれを守る北斗七星を表しています。

本堂の正面には大きな木のケースが置いてあり、中に経木がたくさん置いてあって、願い事を祈りつつ、南無妙法蓮華經をと念えて、年の数だけ経木を持って本堂の周りをぐるぐる歩いてまわり、1周回るときに経木を返して行って、拝みますが（お百度と言うのでしょうか）コロナ禍のため、

経木は撤去されていました。

妙見山と私ですが、亡き祖母の家（＝現在は建て替えて実家があります）が、能勢電鉄（妙見山参拝者のために、阪急宝塚線、川西能勢口から敷いたと言われている、鉄道です。旧型の一昔前の阪急車両を使用し、沿線の景観もよいので鉄道ファンにも人気です）の終点、妙見口駅から妙見山登山の玄関口にあたる、山のふもとのケーブルカーの駅である、黒川駅の間にある、（普通参拝はケーブルカーで黒川から山の中腹まで登り、さらにリフトに乗り換えて妙見山頂上の境内まで登ります）祖母が妙見山を信仰していたため、私もよちよち歩きのところから、家族らに連れられて冬の正月や、真夏のお盆、春、秋の彼岸の頃にもよく登って、お参りをしておりました。冬は雪が積もり、寒さに耐えてリフトにしがみついて乗ったのを覚えています。そのためか、今でも困ったとき、何かを願いたいとき、自然と南無妙法蓮華經と何度も唱えてしまいます。



溪流の横を歩いて登っていきます



川の水は澄み切っています



妙見山を守護している菩薩様



滝に打たれて修行できます

今回は、運動不足解消を兼ねて、登りはハイキングで、下りは、リフトとケーブルカーに乗って降りてこようと、妻と二人でザックとカメラを下げて、登って行きました。登山道は溪流沿いで急ですが、歩きやすく、滝などもみられ、滝に打たれて修行ができる神社や、妙見山を守護しているであろう、小さな神社がいくつもあり、それらを通り過ぎつつ登って行くと、1時間半ほどで、登れました。そして、山頂の境内を散策し、本堂の周りを回るのがですが、子どもの歳の数なら平気ですが、自分の歳の50何周を回るのは大変なので、10周だけ本堂の、周りをぐるぐると歩いて回りつつ、コロナの終焉と、自分の体調の回復を祈りま

したが、周回数を減らしてお祈りを省略しましたので、御利益が薄くならないこと願いつつ、帰りの安全もお祈りして、下山してきました。

空気は澄んでいて暖かく、緑が生い茂り、木の枝に止まって鶯が鳴いているのが観察され、鶯の鳴き声を聴きながらリフトで降りて行きました。初夏になると、リフトの足下は紫陽花で満開となります。また、秋の紅葉のシーズンは、紅葉の中をリフトやケーブルカーが走り、素晴らしい景色です。今回は、ケーブルカーの両側に野生の鹿が戯れておりました。今度は、紫陽花の咲く初夏や、紅葉の時期に登って来ようと思っております。



妙見山境内入り口。お寺なのに鳥居あり



8つの星の一つを示す、馬の石像



妙見山 本堂



リフトが緑の中を下ります



下りのケーブルカー



ここをケーブルカーが下ります

溜まっていくレコードやCDの整理

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回は溜まっていくばかりのCDやレコードの整理について話をしたいと思います。

まずは、レコードですが、近頃のアナログレコードのブームで昔のレコードの価値が見直され、市場でも高額で取引されることが多くなってきました。自分のレコードプレーヤーがあっても、実際に聞くのはコレクションの内30~40枚くらいのことが多く、そのほかのものはこのブームの間に売却した方が得策と思います。

しかし全てのレコードに高額査定がつくわけではなく、いわゆる目利きの能力が必要です。はじめからコレクターとしてレコードを収集している場合をのぞき、多くのレコードは再発盤で、安い値段しかつきません。ところが、今はアナログブームなので、昔の様に1枚十円といった査定がつくことはあまりありません。レコードの目利きはなかなか難しいので、素人でもできる方法をひとつお教えします。

レコード販売、買取の大手のdisk unionにまずはお持ちのレコードを200とか300枚買取に出します。この手の一流の買取業者は1枚1枚査定しますので、各レコードに個別に値段がつきます。ただし、レコードの状態が悪いとか、希少価値の全くないものは非常に安い値段がつきます。しかし、買取に出したレコードの中で数枚に、もし高い値付けのものがあったとしましょう、その値段をヤフーオークションとかでしらべて、業者の方が高ければそちらで、オークションで高値で取引されていたならオークションに出品して、売却した方が良いでしょう。

つまり、レコードの目利きを業者にしてもらって作戦となります。Jazzが一番高く売れそうですので、特にブルーノートのモノ盤が有利です。

その反面クラシックはなかなかいい値段では売れません。昔はやったオールヒーブや全集ものはなかなか苦戦します。

一方、歌謡曲ではなんといってもテレサテンで、この人のレコードはかなりの確率で高く売れます。そのほかザ・ピーナッツとかもいいかも。

J-POPでは山下達郎、大瀧詠一とかも有望で、荒井由美の古いLPも人気があります。最近聞いた話では、Bill Evans のWaltz For Debbyのオリジナルテスト盤に43万円の値段がついたとか。

つぎは放っておくとすぐに増殖するCDですが、CDはなかなか高く売れません。中に高く売れるものもあります。

私の持っているCDの中で一番高そうなのは、お騒がせセレブのパリスヒルトンのものです。パリスヒルトンのデビューCDを、あの有名なBanksyがジャケットにいたずらをしてロンドン中のCDショップにばらまいたという事件がありました。YouTubeでBanksy - Paris Hiltonと検索すると、その動画を見ることができます。**写真1と2**は本物とBanksyが書き換えたCDジャケットを示します。上が本物で、下がBanksyものです。

Banksyといえば、美術館に自分の作品をこっそり置く動画やオークション中に作品が自動的にシュレッダーにかかってしまう動画が特に有名です。昨年大阪南港でひらかれたBanksy展は大変な人気で、わたしもコロナ禍の中にもかかわらず、鑑賞してきましたが、その混雑ぶりにはおそれいました。もっと驚いたのは百貨店で売っているBanksy作品のお値段です。1、2年前には版画で500~600万円くらいであったものが、今や2000万とか無茶苦茶な値段になっています。**写真3**は数あるBanksy作品の中で私が一番好きな1枚です。

CDは売却する前にコンピューターに落としておく必要があります。こうすればたとえ二束三文になっても価値は残ります。MacやWindowsに落としても良いのですが、オーディオ装置で再生するときに、音の質がどうしても落ちてしまいます。そこで登場するのがネットワークオーディオサーバーです。

最近、IO DATAから出た、Soundgenic (**写真4**)はCDからの曲の取り込み、ネットから購入

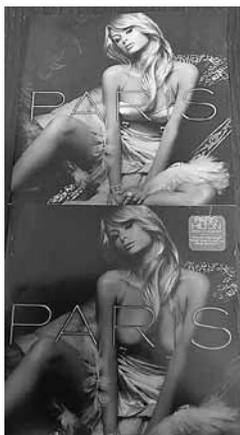


写真1



写真2



写真3

したハイレゾ音源の保存などが簡単にでき、これに他のUSB DACを介して、アンプに音楽データを送って、オーディオ再生することができます。

この際に使用するUSB DACは中国製の物がネット通販とかでかなり安く購入できます。このUSB DACの心臓部にあたるDACチップの製作で最先端を走っているのが、我が国の旭化成で、最新のものはAK4499という型番のものになります。これはそれまで世界最高と言われたカナダESS Technolog社製のES9038PROを凌ぐものとされています。

しかし残念なことに、このチップを作っていた工場が火災にあって、新しいチップの供給がなされなくなってしまいました。今現在旭化成のAK4499チップを使った国産のDAC装置はまだありません。このチップを多く持っていた中国製のDAC装置があるのみです。

話をSoundgenicに戻して、容量は2TBか3TBで十分でしょう。ここに貯めた音源データを



写真4



写真5

iPhoneやiPadに入れたIO DATAのアプリfidata Music App (写真5)を使って、再生のコントロールやプレイリスト作成などが簡単に行えます。

しかしこの機械のすごいところは、再生はオーディオルーム内にとどまらず、Soundgenicに繋いだネットワーク内にあるiPhoneやiPadから再生可能で、これに繋いだスピーカーからも音楽を聴くことができます。つまりBluetoothスピーカーに、自分のiPhoneから自分の所有するCD全部の曲を飛ばすことが可能となるわけです。

所有するCDの量にもよりますが、週末にCDの内容をSoundgenicに落とす(リッピングといいます)として、1~2ヵ月もあれば全部完了するでしょう。その後自分の思い入れのあるものをのぞいて売却すれば良いでしょう。



編集後記

市整会会員の皆様、コロナ禍の中、暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？講演会や懇親会で皆が一堂に会する機会がありませんので、意見交換やぶっちゃけ話、社会全般や公的組織に対する不満や愚痴、為政者の悪口を発する機会が皆無となってきています。このままこれらのフラストレーションを抱えたまま過ぎてゆくのも体に悪いことかと考えました。市整会で今や会報が会員の先生方全員に情報を発する（一方通行ですが）唯一の方法となってきております。

そこで、次回の冬の会報から、“2ちゃんねる”的ではありますが、完全匿名の投書箱を作って、皆様の普段からのムラムラする気持ちをぶちまけていただければと思います。

ご投稿は私の方まで、メールやFAXで送って

いただきたいと思います。秘密は広報担当として守秘義務に徹したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。内容は日常診療のぶっちゃけ話、悩み事、保険審査に関する恨みつらみ、ちょっと旨みのある話、愛車自慢や市整会に対する希望、不満などなんでも結構です。ただし、特定可能な個人に対する誹謗中傷は避けてください。

送付先は

みやわき整形外科クリニック

電話 0798-41-7200

FAX 0798-41-7205

エイチシーエルゼロゴゼロロイチ@エイチシーシーイチピーイーアイエヌイージェイビー
Mail hcl05001@hcc1.bai.ne.jp

広報 宮脇裕二